



2022 年 6 月 28 日

プレスリリース

一般社団法人日本原子力学会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる 学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため、随時プレスリリースを行っています。今回は、地球環境問題対応検討・提言分科会 フェーズⅡ最終報告書の公表です。

「地球環境問題対応検討・提言分科会 フェーズⅡ最終報告書」 の公表

原子力アゴラ調査専門委員会・地球環境問題対応検討・提言分科会（主査：小宮山涼一）は、2020年に今後の原子力発電の活用と役割についての検討結果をフェーズⅠ提言として取りまとめました。その後、カーボンニュートラルに向けた動向や技術の調査と原子力の役割・課題等の検討を行い、2050年カーボンニュートラルや目指すべきエネルギー政策の在り方への提言をフェーズⅡとして取りまとめ報告書を公表いたしました。

報告書名：「地球環境問題対応検討・提言分科会 フェーズⅡ最終報告書」

※報告書は https://www.aesj.net/uploads/com_agora_gei202206.pdf

または、



からご覧ください。

以上